

- スマート通勤おかやまに参加頂いた事業所と岡山大学の学生に参加いただいて、アイデアソンを実施した。
- 実際に通勤している方の生の声をもとに、「クルマの賢い利用」に関する議論を行い、渋滞を緩和させるために、すぐにでも実施できそうなアイデアを含め、様々な視点からのアイデアが出された。

【第1回GOOD ROUTEアイデアソン】

GOOD ROUTEプロジェクトが目指す「考えるきっかけ」となる「新しいプロジェクト」のアイデア出しをグループディスカッション形式で実施

開催：令和3年3月2日（火）
13時30分～16時

対象：スマート通勤おかやまに参加頂いた事業所の従業員、岡山大学の学生（合計9名）

形式：WEB形式（ZOOM）による
グループディスカッション

■WEB形式での実施の様子(イメージ)



＜アイデアソンのテーマ＞

①クルマ利用の削減派（公共交通、自転車、徒歩への行動転換）、②クルマの賢い利用派（時間をずらした移動）のどちらかを選択し、選択した内容の参加促進のために実施する「新しいプロジェクト」を提案してください。



A班のアイデア	<p>選択：②クルマの賢い利用派</p> <p>【クルマのスマート利用プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日ごとに特定ナンバーのみが通過可能な車線の設定 ・隊列走行の実用化 ・信号に気づいていない人への伝達運動の実施 等 <p>⇒「スムーズな移動」の視点から提案</p> <p>【健康的なモータリゼーション社会づくりプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェアラブル端末の普及・活用 ・健康ポイントの設定（ポイントを割引券に変換） 等 <p>⇒「健康」をキーワードとした提案</p>
B班のアイデア	<p>選択：②クルマの賢い利用派</p> <p>【朝活マッチング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、職業関係なく「共通の趣味」で集まって朝活できる仕組みを構築（朝活でいつもより早く出勤し、結果、渋滞時間を避けた行動につながる） <p>⇒「1人ではなく皆で「楽しく」できないか」の視点から提案</p>